

Broaden your horizons ～さあ、視野を広げて！～

CKDと糖尿病

先日、神戸薬科大学の研修会に参加しました。最初のセッションは、大野記念病院の岩川先生による「CKD(慢性腎臓病)」の講演でした。現在、日本のCKD患者数は約2,000万人、成人の5人に1人に達しており、新たな国民病といわれているそうです。腎機能悪化の原因には疾患や生活習慣病がありますが、その他として薬の副作用があります。薬剤性腎障害で遭遇しやすいのが「NSAIDs(非ステロイド性抗炎症薬)」で、薬剤師としては薬の副作用によるCKDの発症や進行を防がないといけませんね。

もう一つは、愛染橋病院の柳瀬先生による「糖尿病診療のアップデート」の講演でした。「スティグマ(間違った烙印)」の本質は理解しているつもりでしたが、医療従事者による偏見の実態にハッとさせられました。糖尿病があるというだけで「HbA1cが上昇していますが、何か食べすぎましたか?」「あの人は糖尿病だから、言うことを聞かない」といった言葉や、逆に「数値が良いから手のかからない人」というスティグマがあるといい、なるほどと思いました。

しかし、データを見れば、糖尿病の有無でエネルギー摂取量・消費量も平均余命も変わりません。糖尿病に対する誤った認識が偏見を助長し、差別を生んでいます。私たち医療従事者はまず自らの意識をあらため、この事態の改善に力を尽くしていく必要があります。

しゃっちょうは行く!



メディアセレスクール
ファウンダー

児島 恵美子